

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月2日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00734.html

記事ページ本文

現在位置

トップ

>

会見・報道・お知らせ

>

大臣記者会見等

>

関芳弘 文部科学大臣の会見

> 関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月2日）

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月2日）

令和8年10月2日(金曜日)

教育、科学技術・学術

キーワード

第23回STSフォーラム年次総会への出席と京都大学の視察、世界大学ランキングの受け止めと大学の国際的価値の向上に向けた取組、AI人材の育成やAIに関する研究開発を推進するための文部科学省の取組、北海道大学で認定された組織的なアカデミックハラスメントの受け止めと今後の対応および大学の対応に関する見解

関芳弘文部科学大臣記者会見映像版

令和8年10月2日（金曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。

令和8年10月2日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）

関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版

後日、アップロードします。

ページの先頭に戻る

お問合せ先

大臣官房政策課広報室

（大臣官房政策課広報室）

ページの先頭に戻る

文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月2日） YouTube 字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00734.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00734.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: <https://www.youtube.com/watch?v=kz6Ocb8XWJM>

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-10-03T06:20:34.549275+00:00

[00:00:00] はい。え、冒頭私から1件、え、報告をさ
[00:00:05] せていただきます。え、10月4日曜日で
[00:00:09] ございます。え、京都市で、え、開催をさ
[00:00:12] れます第23回科学技術と人類の未来に
[00:00:17] 関する国際フォーラム、ま、STS
[00:00:20] フォーラムと呼ばれておりますが、え、
[00:00:22] この年次総会に参加をいたします。演事
[00:00:26] 総会に、え、おきましてはなぜ科学を
[00:00:30] 信じるのか、これをテーマとする
[00:00:33] セッションに登壇いたします。また、各国
[00:00:36] 政府の閣僚など世界で科学技術政策を担う
[00:00:42] 用人との会談等を行いまして、今後の科学
[00:00:47] 技術協力の発展について意見交換等を行う
[00:00:51] 予定でございます。え、また本年の7月に
[00:00:56] 、え、国際卓越研究大学に認定されました
[00:01:00] 、え、京都大学の立川新庁と意見交換を
[00:01:07] 行う予定でございます。[鼻息]同大学の
[00:01:10] 研究の施も行ってみりたいと思います。
[00:01:14] え、これから、あ、これらを通じまして、
[00:01:17] え、国内外の科学技術分野関係者との連携
[00:01:22] を深めて、我が国の研究力の強化に向け
[00:01:25] まして政策の推進につなげてまいりたいと
[00:01:29] 思っております。以上でございます。
[00:01:33] ありがとうございます。え、ではまず者
[00:01:36] からさせていただきます。はい。
[00:01:38] えっと、え、世界大学ランキングが、え、発表されまして、東京大学は、え、去年
[00:01:44] 26位から、え、27
[00:01:46] 位、え、京都大学は、え、

[00:01:48] 61位から62

[00:01:49] 位と、それぞれが順位に起こす結果となりました。え、この結果についての大臣の受け止めをお願いします。

[00:01:56] はい。え、先日ですがタイムズハイアエデュケーション市ですね。

[00:02:03] え、これによりまして世界大学ランキング

[00:02:06] が発表されたことはあの象徴いたしており

[00:02:09] ます。え、文部科学省におきましては、え

[00:02:13] 、様々な指標とを参考に、え、しつつ国際

[00:02:18] 的に越していけるような大学の教育研究力

[00:02:21] の強化に取り組んでいます。大学の教育

[00:02:26] 研究力は、え、多面的に、え、測る必要が

[00:02:30] ございます。え、ランキングの10位のみ

[00:02:33] で、え、評価することは、ま、できないと

[00:02:36] は思います。ものの、世界大学ランキング

[00:02:39] は大学の国際的な評価を知るための、ま、

[00:02:43] 一序になりうるものと認識をいたしており

[00:02:46] ます。え、文部科学省といたしましては、

[00:02:49] 引き続き我が国全体の研究力を牽引する

[00:02:54] 多様な研究大学の進行、日本人の海外への

[00:03:00] 派遣、え、多様で優秀な留学生の受け入れ

[00:03:04] 、その基盤となります。大学の国際化の

[00:03:08] 一体的な推進。え、日本人研究者の海外

[00:03:14] 派遣や世界トップレベル人材の消入れ

[00:03:18] 、え、国際共同研究の推進などの国際図脳

[00:03:22] 循環の促進などを通じまして、我が国の

[00:03:25] 大学の国際的な価値の向上に、え、務めて

[00:03:29] まいりたいと思います。はい。

[00:03:33] ありがとうございます。え、それでは各者

[00:03:35] 様からの質問をお願いします。質問の際は名

[00:03:38] のをお願いします。

[00:03:40] はい、どうぞ。新聞のと申します。よろしくお願いします。お願いします。

[00:03:51] AIの感情でお伺いします。あの

[00:03:54] AI

[00:03:54] の休息の進化が毎日のように社会的に大きな話題になってるかと思います。と文部科学省として、え、学校教育を含めてどのように実践的な

[00:04:03] AI

[00:04:04] 人材の育成や研究開発を進めていくのか、大臣のお考えをお伺いします。

[00:04:09] はい。AIを、え、適、え、適切に活用

[00:04:14] できる、ま、人材の育成、え、またAIに

[00:04:18] 関わります研究開発のもう推進は、ま、

[00:04:21] 非常に重要であると認識をいたしており

[00:04:23] ます。そのために、え、文部科学省では1

[00:04:27] つには初頭中東教育段階におきまして安全

[00:04:31] かつ死体的にAI活用ができます環境を

[00:04:35] 整備してこうとそして生成AI

[00:04:38] ガイドラインの今年度中の改定をま、含め

[00:04:41] ました情報活用能力の抜本的向上に向け

[00:04:45] ました取り組みを推進したいというのが1

[00:04:48] 点です。また2点とし、2点目として高等

[00:04:51] 教育段階におきまして、え、企業等の外部

[00:04:56] 機関が、ま、実施をする口座。ま、これも

[00:04:58] 活用していこうと。そしてAXですね、

[00:05:02] AIを活用した意思決定や業務の変革、ま

[00:05:06]、このようなAXを推進して生産性向上や
[00:05:11] 新たな価値を提示できます人材育成の
[00:05:14] モデルを、ま、作っていこう。喪出して
[00:05:17] いきたいと考えております。で、ま、3つ
[00:05:19] 目には
[00:05:21] 社会人を対象といたしましたAの推進に
[00:05:25] 向けました3学間連携によります
[00:05:29] リスキリングプログラム、ま、これを開発
[00:05:32] 提供をしていこうと、ま、このようなこと
[00:05:36] をですね、各段階におけます実践的な教育
[00:05:39] の強化を進めて、え、いこうそのように
[00:05:42] 考えております。さらに、え、科学研究に
[00:05:46] ですね、あの、AIを活用するAI4
[00:05:49] サイエンス、ま、この推進や、え、基礎
[00:05:54] 研究を含みますAI研究開発力の強化、
[00:05:58] それを支えます研究インフラの構築等、
[00:06:01] これらに取り組んでまいりたいと考えて
[00:06:02] おります。え、文部科学省といたしまして
[00:06:05] 、AI技術の急速な、ま、進展が、あ、
[00:06:09] 恩恵とリスク、あ、この両面をですね、
[00:06:13] 有することもしっかりともう認識をして
[00:06:16] おきながら、世界で最もAIを活、あ、
[00:06:18] 開発活用しやすい国と、え、この実現
[00:06:22] に貢献してまいりたいとそのよう考えて
[00:06:24] いるところでございます。
[00:06:27] はい。はい。はい。どうぞ。
[00:06:33] 新部のたと申します。
[00:06:35] え、北海道大学のアカデミックについて伺います。え、北海道大学離学研究の科学部門で
あの複数の準教授が少女会によって組織的に孤立させられてると訴対した問題であの国大のハラスメ
ン対策室は組織的なアカデミックハラスメントに該当すると認定したことが判明しました。これ複数の
の教授は処分けたと見られますがの方はあの調査結果も処分していません。
[00:07:00] えっと、このようなアカデミックハラスメントが行われていたことについての受け止めをま
ず伺いたいです。それから大学側への対応、農科長としての対応について教えてください。え、また
プライバシーなど理由に調査結果と処分を公表してない例の対応についても大臣なお考えをお聞かせ
ください。
[00:07:04] [咳払い]
[00:07:18] はい。
[00:07:19] え、お尋ねの事案につきまして、え、
[00:07:23] 北海道大学に確認をあの行いましたところ
[00:07:27] 、え、大学院において学内規定等に基づき
[00:07:31] まして対応が行われたものと伺っており
[00:07:34] ます。う、え、ハラスメントですね。これ
[00:07:39] はもう本当にあってはならないものとその
[00:07:41] ように、え、考えておりまして、このよう
[00:07:43] な事案が生じたことは、あの、誠に間で
[00:07:47] ございます。で、本件についてですが、
[00:07:50] あの、昨日北海道大学から事案の認定や
[00:07:54] 再発防止に向けました対応等につきまして
[00:07:57] 、あの、報道機関の方々に対しまして説明
[00:08:01] がなされたものと承知をしているところで
[00:08:04] ございますが、え、文部科学省といたし
[00:08:07] ましては実行的の実行性のある再発防止策
[00:08:12] を含めまして、大学におきまして、え、

[00:08:16] 適切な対応が図計まいますように必要な

[00:08:19] 指導助言を行ってまいりたいと思います。

[00:08:26] はい、よろしいでしょうか？

[00:08:30] はい。

[00:08:34] その他ございますでしょうか？

[00:08:38] よろしいですか？はい、じゃあどうも

[00:08:41] ありがとうございます。またどうぞ

[00:08:42] よろしく願いいたします。